

新形状
水平スコア
採用で安全性アップ!

PP キャップ

(Pilfer Proof Cap) ed.2.1

アルミ製キャップシェルを、シーマーで壇口形状に合わせて変形させて使用(ロールオン方式)するもので、その名のとおり、ピルファーフ性はもちろん、イージーオープン性、リシール性をも兼ね備えたクロージャです。キャッピング方法を簡素化したねじつきPPキャップもあります。



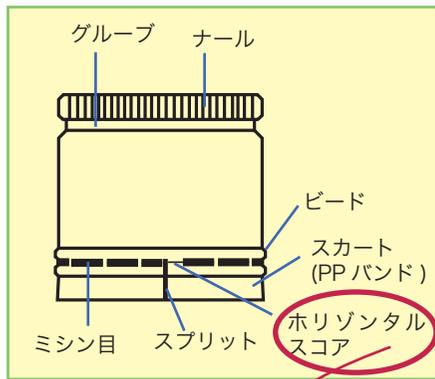
■ PPキャップの内面・外面コーティングについて

シートライナー入りのPPキャップは、プレス加工性の面から、従来はビニール系の内面塗装が多用されてきました。当社では、キャップの内面コーティングをポリエステル系塗料に順次変更し、環境問題や環境ホルモン問題などへの対応適性を高めたPPキャップの商品化をおこなってきましたが、最近では、外面コーティングについても順次ポリエステル系塗料に変更して、オールポリエステル系塗料化を推進しています。

■主なPPキャップ

	外径	全高	ねじつき
PP 28S	28.40	18.30	
PP 28SH-PM	28.50	15.60	
PP 30S	29.50	19.40	○
PP 30S-PM	29.50	19.00	
PP 30SD	29.70	30.70	○
PP 30ED	29.70	34.70	○

■ PPキャップ各部名称



※水平スコアについて

当社のPPキャップには、PPバンドの除去による怪我に結びつくようなカエリが発生しないような『水平スコア』を設けています。最近では、この『水平スコア』の形状を改良し、より安全性の高いものになっています。

※ PM PPキャップの資料も準備しています。



(仕様は予告なく改良することがあります。)

※(一般のご注意) PPキャップをご採用いただく場合にご注意いただきたいこと

- 事前にご使用の壇メーカーをお知らせいただくか、びんサンプルを営業担当者にお渡しください。
- 巻縮め状態をご確認ください。状態によっては、シーマーの調整が必要な場合があります。
- 開封トルクや逆転トルクの管理値をご確認ください。
- 内容物とのフレーバー適性については、事前にご確認ください。
- ご採用にあたっては、充填条件やキャッピング条件など、事前に必ず営業担当者をご確認ください。

終売しました!

■主なライナーの種類	発泡 PE	発泡 PE	HR タイプ	PP ラミ発泡 PE	PET ラミ発泡 PE	PM (ポリモールド)
構成材料	A: 発泡 LDPE (S 仕様)	A: 発泡 LDPE (SS 仕様)	A: 発泡オレフィン系	A: 発泡 LDPE B: OPP フィルム	A: 発泡 LDPE B: OPET フィルム	キャップシェル内で圧縮成型 (LDPE+) 顔料
通常グレード (A)			接液面 オレフィン	バリア材: 接液面共 PP	バリア材: 接液面共 PET	バリア材: 接液面 PE
ラミネートグレード (B)	接液面 PE	接液面 PE				
比重 (許容範囲)	0.50 (0.45 ~ 0.55)	0.40 (0.35 ~ 0.45)	0.52 (0.47 ~ 0.57)	0.54 (0.49 ~ 0.59)	0.54 (0.49 ~ 0.59)	0.91 (0.90 ~ 0.92)
気体透過性	O ₂	10.3	13.0	11.7	6.5	1.53
	CO ₂	15.8	19.8	-	10.5	2.19
充填	45°C以下	◎	○	○	◎	◎
	45 ~ 75°C	○	○	◎	◎	◎
	75°C以上	-	-	◎	-	-
熱処理	65°C以下	○	○	◎	◎	○
	65 ~ 90°C	-	-	◎	-	-
	90°C以上	-	-	115°C1h ◎	-	-

